

洗足学園音楽大学大学院 管楽器コンチェルト研究演奏会

2022年10月30日(日)開演 14:00 (開場 13:30)
洗足学園 シルバーマウンテン1F
主催：洗足学園音楽大学・大学院

指揮：竹内 聡 (本学講師)

独奏：ZHANG XIN	大学院1年(サクソフォン)
河村 真歩	大学院2年(オーボエ)
石井 優菜	大学院2年(フルート)
濱欠 直毅	大学院1年(トランペット)

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

Greeting

本日は大学院「管楽器コンチェルト研究演奏会」にご来場頂き、誠にありがとうございました。

本学大学院研究科管楽器コースでは毎年厳しいオーディションによって、コンチェルトの夕べを本学大学院室内管弦楽団と共演する機会を与えられております。その他に「室内楽」「リサイタルシリーズ」など演奏会も数多く行っており、充実した研究を行う環境が整っております。

本日は「コンチェルト研究」として複数台の電子オルガンが、オーケストラの伴奏部を受け持ち、トランペット・フルート・サクソフォン・オーボエ独奏者が研究演奏を披露いたします。コロナ禍での開催で関係者のみの入場となりましたが、それぞれの楽器の音色や特徴を身近に感じていただければ幸いです。

今後世界に羽ばたく若者に大きな拍手を送ってください。

洗足学園音楽大学・大学院教授
渡部 亨

Program

A. ウェニヤン / ラプソディー

Andre Waignein (1942-2015) // Rhapsody

サクソフォン独奏
電子オルガン

ZHANG XIN
LI HONGLIN *(院2年) WEI JIACHEN(院2年) WANG HONGFEI(院1年)
YUAN XINYI(院2年)

B. マルティヌー / オーボエ協奏曲 H.353

Bohuslav Martinu (1890-1959) // Concerto for Oboe and Small Orchestra, H.353

オーボエ独奏
電子オルガン

河村 真歩
GUAN QI *(院2年) LI QINGZHI(院1年) LYU HONGZHENG(院1年)
永田 凜太郎(学部2年)
内海 菜々美(学部4年)

ピアノ

Intermission

C. ライネッケ / フルート協奏曲 ニ長調 作品283

Carl Reinecke (1824-1910) // Flute Concerto in D major, Op.283

フルート独奏
電子オルガン

石井 優菜
GAO YUNYAN*(院1年) YAN YUQING(院2年) LIU JINGYI(院2年)
内海 菜々美(学部4年)

フンメル / トランペット協奏曲 変ホ長調

J.N.Hummel (1778-1837) // Trumpet Concerto in Eb

トランペット独奏
電子オルガン

濱欠 直毅
SUN YUPENG *(院2年) LI BINGXI(院2年) MA YIXIN(院2年)
内海 菜々美(学部4年)

* コンサートマスター

Program Note

A. ウェニヤン / ラプソディー

Andre Waignein (1942-2015) // Rhapsody

Andre Waignein (1942～2015)はベルギーの作曲家、指揮者である。この「Rhapsody」は2010年にベルギーで開催される第5回アドルフ・サククス国際コンクールのために、「アルト・サクソフォンとオーケストラまたはピアノのためのRhapsody」を作曲された。この作品はサクソフォンの技術の多様性と華麗性を更なる深く追求し、より明晰的に表現するよう工夫を掛けている

全曲は3つの楽章から成る。第1楽章は10個以上の素材を使用しており、演奏者の各方面の技術が強く要求され、試金石となる楽章である。第2楽章は豊かな旋律変化で華麗性と音楽性を表している。第3楽章はテンポが非常に速く、前の楽章の静けさとは著しく対比する。全曲的には作曲家の実力を見せつけ、技術も音楽性も楽しめる曲である。

(ZHANG XIN)

B. マルティヌー / オーボエ協奏曲 H.353

Bohuslav Martinu (1890-1959) // Concerto for Oboe and Small Orchestra, H.353

ボフスラフ・マルティヌー(1890-1959)はチェコのポリチュカで生まれた。第二次世界大戦後、一時プラハ音楽院の作曲科教授となったが、再び国外に出て二度と祖国に戻らず、アメリカ、フランス、イタリア、スイスなどを転々とした。

マルティヌーは1900年から作曲を始め、数多くの室内楽曲を残した。彼は多様なスタイルを作品に取り入れており、比較的伝統的な民族主義から新古典主義の道を進むが、彼の作品すべてには、祖国チェコの音楽がみられる。

オーボエと小編成のオーケストラのための協奏曲は1955年に作曲された。この作品はオーストラリア在住のチェコ人オーボエ奏者、ジリ・タンチブデクによって委嘱され、初演後ヨーロッパにも急速に広まった。3楽章から成る曲は、急一緩一急の古典的枠組に従っており、全体を通してオーボエとオーケストラの対話のような場面が見られる。

(河村 真歩)

C.ライネッケ／フルート協奏曲 二長調 作品283

Carl Reinecke (1824-1910) // Flute Concerto in D major, Op.283

カール・ライネッケ(1824～1910)はデンマーク領のアルトナ(現在のドイツのハンブルク市)に生まれた作曲家、ピアニストであり、指揮者、教育者である。

このフルート協奏曲二長調作品283は1908年に作曲され、現代ではよく演奏されるフルーティストにとって重要なレパートリーとなっている。

第1楽章はソナタ形式で書かれており、爽やかな朝を思わせる。第2楽章は口短調による葬送行進曲風のバスオステナートから始まる。この楽章にはレチタティーヴォがあることが最大の特徴である。第3楽章ではホルンのホ短調から序奏が始まる。中間主題では第1楽章の主題を思わせるようなテーマが再現され、華やかに終わる。

亡くなる2年前に作曲され、ライネッケの人生が描かれているような作品となっている。

(石井 優菜)

フンメル／トランペット協奏曲 変ホ長調

J.N.Hummel (1778-1837) // Trumpet Concerto in Eb

《トランペット協奏曲(伊語:Concerto a Trombe Principale)ホ長調》は、ヨハン・ネポムク・フンメル の作品。フランツ・ヨーゼフ・ハイドンの《トランペット協奏曲》と同じく、ウィーンのトランペットのヴィルトゥオーソで有鍵トランペットの発明者、アントン・ヴァイディンガーのために作曲された。1803年に作曲・初演され、翌1804年にハイドンの後任楽長としてのエステルハーゼ宮廷楽団への就任を彩ることになった。

(濱欠 直毅)

Profile

指揮 / 竹内 聡 Satoru TAKEUCHI

東京音楽大学作曲科卒業、同大学大学院修士課程作曲研究領域修了。武生国際音楽祭に招待作曲家として参加し、第5回武生国際作曲賞を受賞する。

指揮者としても活動の場を広げており『天国と地獄』『こうもり』『仮面舞踏会』『ヘンゼルとグレーテル』『コジ・ファン・トゥッテ』

『魔笛』『フィガロの結婚』『愛の妙薬』『スザンナの秘密』など主にオペラやオペレッタを数多く指揮している。またモーツァルトの『レクイエム』、プッチーニの『グローリア・ミサ』などの合唱作品にも取り組んでいる。サンクトペテルブルク国際指揮マスタークラスの受講生に選ばれファイナルコンサートにおいて『ラ・ボエーム』と『カルメン』を指揮した。

舞台音楽における作・編曲には定評があり、ミュージカルやコンサート等数多くの作品に携わってきている。音楽監督としての主な参加作に、

『一路真輝 40周年記念コンサート「True to Myself」』『山口祐一郎 My Story, My Song~and You』『メリリー・ウィー・ロール・アロング』『PARTY』『ローマの休日』『ブラック・メリーポピンズ』『スコット&ゼルダ』『The Sparkling Voice II』等、その他に編曲として『The Musical Concert at Imperial Theatre』『ファントム（韓国版）』『Espoir』等、また作曲・編曲として宝塚歌劇団『Ray-星の光線-』『Music Revolution!』『雨に唄えば』等にも関わる。その他に『ハイキュー!! コンサート』、『天使にラブ・ソングを〜シスター・アクト〜』（地方公演）等を指揮している。直近では「とうきょう総文2022」オリジナルミュージカル『6時間目が、国語。』の作曲および音楽監督を担当。2023年1月『キングアーサー』の編曲、音楽監督が控えている。

作曲を野田暉行、糺場富美子、西村朗、細川俊夫の各氏に、指揮を汐澤安彦、アレキサンダー・ポリャニチコの各氏に、ピアノを串戸悦子の各氏にそれぞれ師事する。



サクソフォン独奏 / ZHANG XIN (院1年)

中国上海出身。中国浙江音楽学院卒業。2022年洗足学園音楽大学大学院に入学、平野公崇氏に師事。



オーボエ独奏 / 河村 真歩 (院2年)

愛知県出身。洗足学園音楽大学音楽学部管楽器コースを首席で卒業。現在、同大学大学院音楽研究科2年。2013年第15回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞・文部科学大臣賞、2018年第1回名古屋International音楽コンクール管楽器部門第1位。2021ヤマハ管楽器新人演奏会などでソロ演奏。H.シェレンベルガー氏のザハランク音楽講習会受講。オーボエを寺島陽介、鈴木宏子、宮村和宏、辻功各氏に師事。



フルート独奏 / 石井 優菜 (院2年)

東京都出身。14歳よりフルートを始める。国立音楽大学附属高等学校を経て、国立音楽大学卒業。卒業時に卒業演奏会、第48回フルートデビューリサイタルに出演。国立音楽大学東京同調会新人演奏会推薦。第24回万里の長城杯国際音楽コンクールアンサンブル部門一般Aの部最高位受賞。現在、洗足学園音楽大学大学院音楽研究科2年在学中。これまでにフルートを菅井春恵、大友太郎、野原千代の各氏に師事。



トランペット独奏 / 濱欠 直毅 (院1年)

北海道札幌市出身。12歳よりトランペットを始める。東海大学附属第四高等学校を卒業後、武蔵野音楽大学に入学。同大学卒業後、現在洗足学園音楽大学大学院1年在学中。トランペットを松田次史、佛坂咲千生、古田俊博、亀島克敏の各氏に師事。



指導教員 赤塚 博美 岩本伸一、古田俊博
渡部 亨
協力 電子オルガンオフィス
音響 能藤 伸
AC 岩岡 一志